

志半ばで……

市民の声を大切に、市民の思いを行政に、
すみやすいまちづくりを目指された市民派の
角田晴義 神崎市議会議員

去る平成21年5月7日、角田晴義議員が逝去されました。
その死を悼み、在りし日の角田議員について語って頂きました。



市民の声を大切にした議員

角田晴義議員の死を悼む

神崎市議会議長 眞崎 貞雄



議席番号10番 議員自席にて

神崎市議会議員故角田晴義君の突然の訃報に深い驚きと悲しみを禁ずることができませんでした。

角田晴義君は、平成18年4月合併に伴う神崎市議会議員に初当選され、その間、産業経済常任委員会の要職に就かれ、そして縦横に活躍され、多大の功績を積まれたのであります。

ここに「議会だより第13号」をもって君を追悼するにあたり、昨年12月定例会で壇上に進み見事な一般質問をされた雄姿が昨日のことにように思われます。

私たちは、君が築き上げようとした、安心して暮らせる神崎市民の生活環境づくり実現への情熱を引継ぎ、市政の発展のために尽くすことをお誓いするものであります。

故角田神崎市議会議員を想う

神崎市議会前議長 藤瀬 光正

胸にバッチをつけ颯爽と初議会に来られた事が先日のように思い出される。

新生神崎市を、住みやすいまちにしようとして神陽会を同士と共に結成し、視察・勉強会を幾度となく開催し活発な意見交換を交える議員の姿が今も胸に浮かびます。

角田議員の純粋なものの考え方、また議員としての調査研究に取り組む姿を見て、当時議長を務めた立場から、そして議員の一人として感銘を受けました。

神崎市民の想いと声を大切にした貴兄の志を受け継ぎ、議会活動を通して神崎市民が安心して暮らせるまちづくりを目指して行きます。

安心してご永眠して下さい。合掌



議会一般質問での議員